

令和6年度 大阪市 英語教育改善プラン

目標

4技能5領域を総合的に育成するとともに、コミュニケーションを図る資質・能力の向上を図る。

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

- ① 授業における、児童の英語による言語活動時間の割合が昨年度比6.6ポイント上昇
R4:86.0%
R5:92.6%
- ② 英語教育に関して、小中連携を実施している学校の割合が、昨年度比14.8ポイント上昇
R4:68.8%
R5:83.6%

未だ改善が必要な点

- ① CEFR B2レベル以上を取得している教師の割合が、昨年度比1.2ポイント上昇したものの、さらに改善が必要
R4:2.7%
R5:3.9%

2. 要因分析

- ① 教員の言語活動に対する理解が深まり、授業改善が進んでいる
- ② 小中連携の必要性が高まり、特に情報交換（相互授業参観等）を実施した学校が、昨年度から24.2ポイント増加
R4:53.9%
R5:78.1%
- ① 英語で授業を行おうとする教師は徐々に増えているものの、英語力向上のための自己研鑽の時間が不足しており、依然として低い状況が続いている。

3. 目標を達成するための施策・事業

- ① 英語授業力向上推進チーム（本市独自）の指導教諭等が、各小学校を巡回訪問し、研修や授業参観指導等を通して言語活動について指導することで、教員の授業改善を推進
- ② 小中連携研修の実施・専科加配教員の充実
 - ・ 総合教育センターにおいて、外国語小中連携研修を全校悉皆で実施し、参加者が各中学校区単位で協議を行う
 - ・ 専科加配教員数を拡充するとともに、対象教員の研修を実施し、円滑な小中接続を図る
- ① 指導者対象英語力向上研修の実施
 - ・ 夏季休業中に、専門的な知見を持つ語学学校等と連携した集中講座を開設（2コース×4日）

一定の英語力を有する小学校教師の新規採用に係る取組

- ・ 一定の英語資格を有する受験者には、申請によりテストの合計得点に加点
（英検, GTEC(CBT), IELTS, TOEFL(iBT), TOEIC(LR)）

令和6年度 大阪市 英語教育改善プラン

目標

4技能5領域を総合的に育成するとともに、コミュニケーションを図る資質・能力の向上を図る。
○CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合（R5：54.3%⇒R6：55.9%）

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

- ① 授業における、生徒の英語による言語活動時間の割合が昨年度比8.6ポイント上昇
R4:48.7%
R5:57.3%
- ② 英語教育に関して、小中連携を実施している学校の割合が、昨年度比14.8ポイント上昇
R4:68.8%
R5:83.6%

未だ改善が必要な点

- ① CEFR B2レベル以上を取得している教師の割合
R4 35.3%
R5 37.8%（目標50.0%）
- ② 授業において、発話の50%以上を英語で行っている学校の割合
R4 35.4%
R5 34.1%（目標75.0%）
- ③ R5全国学力・学習状況調査の教科の結果から、全国と比べ文章の概要や要点を捉えることに弱みが見られた。

2. 要因分析

- ① 教員の言語活動に対する理解が深まり、授業改善が進んでいる
- ② 小中連携の必要性が高まり、情報交換（相互授業参観等）を実施した学校が、昨年度から24.2ポイント増加
R4:53.9% R5:78.1%

- ① 英語力向上のための自己研鑽の時間等が不足
- ② 教師の英語力不足、英語を使った授業の進め方のスキル不足が原因と考えられる
- ③ R5全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果から、全国と比べ言語活動の不足が原因と考えられる

3. 目標を達成するための施策・事業

- ① 言語活動時間を増やすための研修等を実施
 - ・大阪市英語力調査に向けた事前研修において、効果的な言語活動の活用について英語科教員に周知
 - ・大阪市教育フォーラムにおいて、言語活動に関するオンデマンド動画を作成し、英語科教員に周知
- ② 小中連携研修の実施・専科加配教員の充実
 - ・総合教育センターにおいて、外国語小中連携研修を全校悉皆で実施し、参加者が各中学校区単位で協議を行う
 - ・専科加配教員数を拡充するとともに、対象教員の研修を実施し、円滑な小中接続を図る
- ① 夏季休業中に、専門的な知見を持つ語学学校等と連携した集中講座を開設（2コース×4日）
- ②③ 授業改善プログラムを実施し、英語による授業の進め方、および効果的な言語活動について研修する

◆実施スケジュール

- 5月 事前研修（外部講師による研修+指導計画作成等）
5月～授業実践
10月 4技能外部テストによる効果検証
2月 事後報告会 結果データに基づく研修

目標達成状況一覧表

令和6年度様式（様式2）

大阪市教育委員会

		2023		2024		2025		2026		2027		
校種	指標内容	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
中学校	①CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(%)	55.9	54.3	55.9		57.3		58.7		60.0		
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合(%)	75.0	57.3	62.3		67.3		72.3		77.5		
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合(%)	90.1	59.6	87.0		91.3		95.6		100.0		
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定(%)	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0		100.0	
		公表(%)	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0		100.0	
		達成状況の把握(%)	100.0	70.3	77.7		85.1		92.5		100.0	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合(%)	50.0	37.8	40.8		43.8		46.8		50.0		
⑥英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	75.0	34.1	43.9		53.7		63.5		73.3			

		2023		2024		2025		2026		2027	
校種	指標内容	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0	
		公表(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0	
		達成状況の把握(%)	100.0	71.6	78.7		85.8		92.9		100.0